

大学の世界展開力強化事業  
(2018年度採択)  
2019年度フォローアップ結果

大学の世界展開力強化事業プログラム委員会  
2019年10月24日  
独立行政法人 日本学術振興会

## フォローアップの総括

2018年度に採択された10件のプログラムについて、①プログラムの内容、②質の保証を伴った魅力的な大学間交流の枠組み形成、③外国人学生の受入及び日本人学生の派遣のための環境整備、④構想の実施に伴う大学の国際化と情報の公開、成果の普及の各観点により、計画の進捗状況や設定した達成目標に対する実績（派遣・受入学生数）等を調査票によりフォローアップの上、主なものを抽出・整理した。

特徴であるCOIL（オンラインを活用した国際的な双方向の教育手法）型教育については、特に日本人学生向けに単位取得を伴う留学の前後学修で積極的に活用されていることが分かった。

事業全体の交流学生数については、派遣、受入のいずれも目標値を上回っていることから、支援開始2年目以降も引き続き目的に沿って取組内容を充実させ、成果を挙げていくことが期待される。

なお、このフォローアップは、大学の世界展開力強化事業の適正な事業管理を行うとともに、採択プログラムにおける円滑な事業実施の支援や成果の還元のため、各取組の進捗状況等を確認することを目的に実施しているものである。

# 取組の進捗状況

## ① プログラムの内容

### タイプA

#### 東京大学

数人から成る日米学生のグループごとに工学の将来有望な技術について調査する課題を与え、学生間でオンラインを介して議論するCOIL型教育を取り入れ、調査結果をまとめて相手国で学生シンポジウムとして発表している。本学学生はMITの講義を、MITの学生は本学の講義をインターネットやビデオで聴講する双方の学生が協同で行う講義スタイルであり、相互に開催するシンポジウムや現地視察を通してFace-to-Faceで対話することで学生間の交流の機会を増やし、世界での活躍を志向した資質や能力の必要性を早くから学部学生に実感させ、留学意識を高めている。

#### 東京外国語大学、国際基督教大学

東京外大では、派遣前学生にCOIL型授業を開講することで、授業・交流・インターンシップの3つの柱による人材育成を具現化し始めている。COIL型授業においては日米双方の学生間で英語による深い議論を実現しており、例えば太平洋戦争を議題に取り上げ、タブー視されがちな日米間での異なる見方を徹底的に討論し、学生は異なる観点から当該戦争の捉え方を理解し、多角的な視座に立つことを学んだ。

#### 琉球大学

マーシャル諸島短期派遣プログラムでは、事前研修で在マーシャル日本国大使館による安全危機管理研修及び現地の文化や歴史に関する研修のほか、派遣中はCOILを活用した双方向の講義を通して太平洋島嶼地域の持続可能な発展について協働プレゼンテーションを行い、島嶼地域に共通する課題に対する理解を深めた。参加学生からはプログラムに対する高い評価を得た。

#### 南山大学

留学前6週間のCOIL型教育による派遣先大学の学生との交流後に、2週間のNU-COIL短期留学の間も事前交流した学生と協働プロジェクトに取り組むという多層的なプログラムを実施した。参加した学生からは、従来の短期留学よりも派遣先学生と積極的に交流することができ、また効果的に協働作業を進めることができたとの反応があり、COIL型教育と短期留学の連動による成果が見られた。

### タイプB

#### 関西大学

- ・プラットフォーム構築プログラム

COIL普及のためJPN-COIL協議会を発足し磐石な体制を整えた。IIGEキックオフシンポジウム「KU-COILワークショップ・国際シンポジウム」には海外から20人を超える招聘者のほか、110人を超える参加者があった。

## ② 質の保証を伴った魅力的な大学間交流の枠組み形成

### タイプA

#### 千葉大学

ストーニーブルック大学と実施したContemporary Religion in Japan（日本の宗教）は、宗教学研究のバックグラウンドを持つ学生が事前に日本の宗教についての基礎知識を学び、リーディングの課題を実施した上で、成田山や明治神宮のような大規模で公的性格を持つ場と千葉神社のようなローカルな場でのフィールド・ワークを通じて、一神教と多神教との関係や、宗教と社会生活・行為規範との関係等を比較する視点を獲得するとともに、日本の宗教について深く理解することで、学生は十分な学習効果を得た。

#### 鹿児島大学

外国の大学の正規学生が本学のオンライン遠隔授業を受講する際の在籍資格と単位付与を可能とする「鹿児島大学遠隔特別聴講学生に関する要項」を制定し、質の保証を伴った教育交流の枠組の形成に取り組んだ。

#### 琉球大学

マーシャル諸島短期派遣プログラムでは、事前のCOIL交流を含め、マーシャル諸島短期大学の学生との充実した協働学習を実施した。現地と本学とをCOILにより繋げて現地の学生とSDGsをテーマにした協働プレゼンテーションを実施するなど、人材育成目標である英語運用能力やSDGs意識、協働性、異文化適応能力の全てを包括した取組であると言える。

#### 上智大学、お茶の水女子大学、静岡県立大学

COILの導入が進むマイアミ国際大学にCOILコーディネーターを含む上智大学教職員を派遣し、ワークショップにおいてニューヨーク州立大学でのCOIL導入例など、大学組織全体としてCOIL導入に係る方法論や事例を学んだ。

## ③ 外国人学生の受入及び日本人学生の派遣のための環境整備

### タイプA

#### 東京大学

受入学生に対して日本語授業や文化体験企画のほか、在學生と留学生との交流会等の機会を多数設け、分野や所属専攻を超えて相互交流できる場を整備している。

### **琉球大学**

派遣・受入交流プログラムの支援体制整備やCOIL型教育の連携促進のため、本学教職員を太平島島嶼地域の13校全ての連携大学に派遣し、協力体制を強化した。

### **大阪市立大学**

派遣・受入のいずれにおいても学生が急病となる事例が発生したが、マニュアルに沿って迅速に対応することで感染の拡大を防いだ。このことは、今後のプログラムの継続実施にあたって、インターンシップ実施機関との信頼確保の点からも大きな成果であったと言える。

### **南山大学**

派遣、受入ともに、愛知県を本拠地とする企業や官公庁において訪問型インターンシップを実施した。ワシントンD.C.で店舗訪問をした上で帰国後に当該企業の本社で研修を行うなど、日米双方のビジネスの現場を経験した学生もあり、両地域を繋ぐ人材として必要な資質に関する気づきを得た。

### **タイプB**

#### **関西大学**

・交流推進プログラム

本学のマルチリンガルイマージョンルームは全ての受入学生が利用できるほか、留学前の派遣学生にとっても着実な語学力アップと異文化体験が可能となる場として機能している。

## **④ 事業の実施に伴う大学の国際化と情報の公開、成果の普及**

### **タイプA**

#### **東京大学**

マサチューセッツ工科大学との連携は、全学的な戦略パートナーシップの相手校として位置付けている。これまでの閉じられたCOIL型講義から対象者を広げて短期交流の機会を大幅に増やした。世界をリードするMIT学生との学術だけではなく文化交流をプログラムに取り入れた。

#### **鹿児島大学**

キックオフシンポジウムを事業開始直後に開催し、約180名の学内外の参加者を得て特に本学学生の高い興味を引いたこと、日本語同時通訳を配して全てを英語で行ったこと、連携校教員を招致して事業打合せの機会としても利用したこと、さらには訴求力のあるデザインと適切な分量に編集したプログラムパンフレットを発行し、事業内容の周知に努めた。

## 琉球大学

本事業による国際教育連携の推進へ向けたキックオフとして、連携の核となるハワイ大学、グアム大学と共催でシンポジウムを行い、学長、教職員、学生が参加し、関係者に幅広く周知した。グアム大学とのシンポジウムではCOILの実践も行い、COIL型教育の活用についてアピールした。

## 上智大学、お茶の水女子大学、静岡県立大学

上智大学における講義科目へのCOIL導入事例や、国内・米国連携大学の情報、導入を検討する教員への参考情報をまとめた事業パンフレットを発行し、事業内容とCOIL導入のノウハウを学内外に共有している。

## 南山大学

NU-COIL短期留学では、共同プロジェクトの成果物として派遣先大学であるノースジョージア大学のプロモーション動画を作成し、ウェブサイトで公開している。短期留学の様子は、同大学の広報部署も紹介する動画を作成しており、日米の双方向で取組を広くPRしている。

## タイプB

### 関西大学

- ・プラットフォーム構築プログラム

本事業採択校を中心にJPN-COIL協議会設置準備会を開催したほか、17大学・3協賛企業等により正式にJPN-COIL協議会を発足させた。

# 特記すべき成果

## タイプA

### 東京外国語大学、国際基督教大学

COIL型授業を受講した学生が連携校へ留学したことにより、COIL型授業・交流・インターンシップの連関する流れが開始された。実施例としては、英語をツールとし、太平洋戦争や災害など、重要なテーマに関して踏み込んだ日米学生間の議論等がある。学生からは、特に太平洋戦争を扱った議論についての肯定的な意見が多く聞かれ、本事業で目指すCOIL型授業実施の方向性が確認できた。

### 東京藝術大学

連携先である南カリフォルニア大学の学生が行っている聴覚障がい支援の研究について、本学が聴覚特別支援学校の教員を紹介して助言する機会を作るなど、人材交流により教育だけでなく研究も活性化してきている。

## 鹿児島大学

リサーチ・プログラム（上級）8コース中4コースにおいて派遣・受入プログラムの事前学習等でCOILを実施し、初年度のCOIL受講者数計画値をほぼ達成した。受入プログラムでは、プログラムの完成形である「COIL事前学習等＋コース専門性に地域リソースを活用した実地体験＋日本人学生と協働学習」を実施し、市保健センターや企業を視察したり、連携校と本学教員による講義を本学学生とともに受講して意見交換等を行うなど、学生は互いに専門分野の視野と知識を広げた。派遣プログラムにおいても、現地工場の視察等を含む専門に合致する内容とした。

## 琉球大学

日本人学生6名がマーシャル諸島短期大学を訪問し、COIL型講義やフィールドトリップ（廃棄物処理場見学など）を通して太平洋島嶼地域に共通する課題や持続可能な発展について学習し理解を深めた。連携先の Guam 大学との共同シンポジウムでは、太平洋島嶼地域の持続可能な発展に資するグローバルリーダー育成、COIL型教育手法及び学生のモビリティの向上について講演を行うとともに、COILを活用した両大学の学生によるプレゼンテーションを行った。

## 大阪市立大学

連携先の ANDRIUS 大学と共同で授業を実施するとともに、インターンシッププログラムとその成果を評価するルーブリックの共同開発に取り組んだ結果、合宿研修について、相手側で当初の計画よりも早く単位の認定を行うことが可能となった。

## 南山大学

NU-COIL短期留学を新たに立ち上げ、COIL型教育と短期留学が連動する教育モデルを確立した。日本語を学習する派遣先大学学生と英語及び日本語でCOIL型教育を通じて事前に交流することで、留学開始当初からスムーズに学生同士がコミュニケーションを取ることができた。これにより、協働プロジェクトの学びがより深くなるほか、留学前における双方の学生の学習意欲を高めることが可能となった。このモデルは、汎用性があり他のプログラムでも活用できるものであり、学内でも複数の教員が関心を示している。

## タイプB

### 関西大学

- ・プラットフォーム構築プログラム

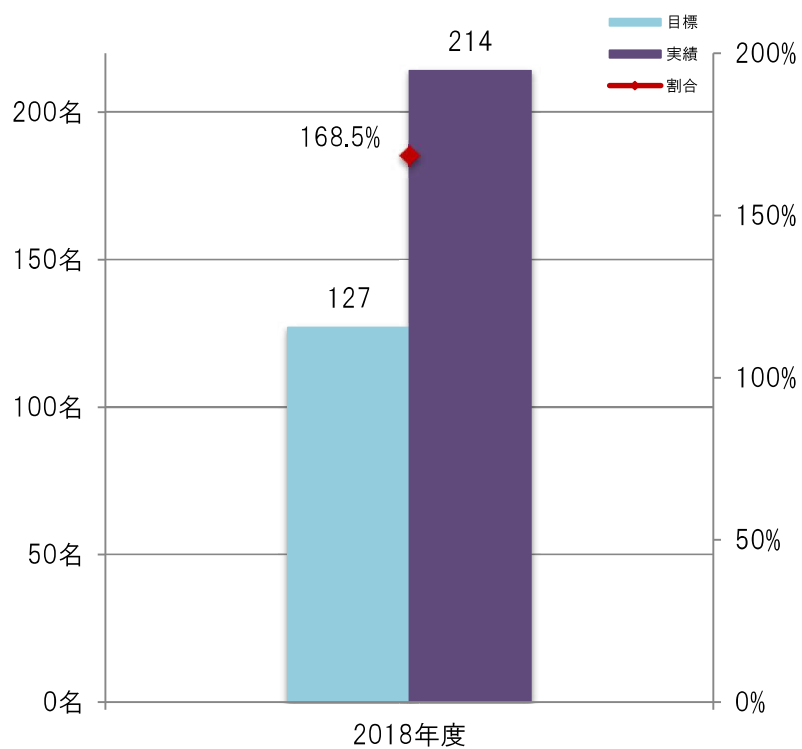
COILマッチングサイトを開設し、初心者でも学習成果が期待できるCOIL授業デザインの構築に資する研修を受けることができるフローを提供した。

## 交流学生数の実績（1）

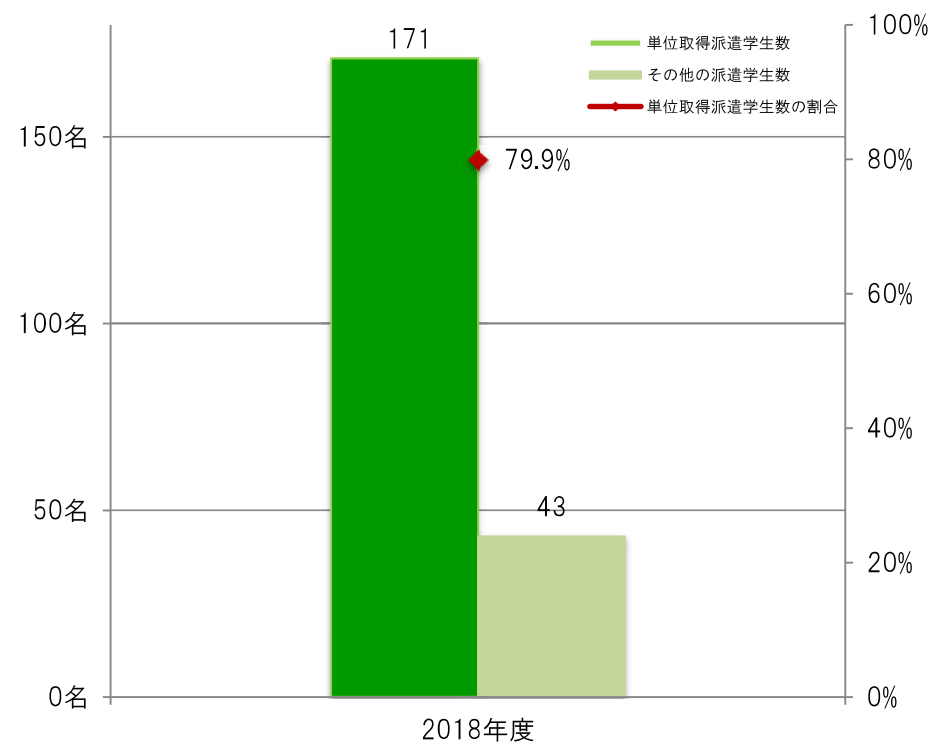
### （1-1）留学した日本人学生数（派遣学生数）〈全10プログラムの実績〉

実績は目標を大幅に上回り、単位取得を伴う派遣学生の割合は高い水準にある。

目標に対する実績・割合



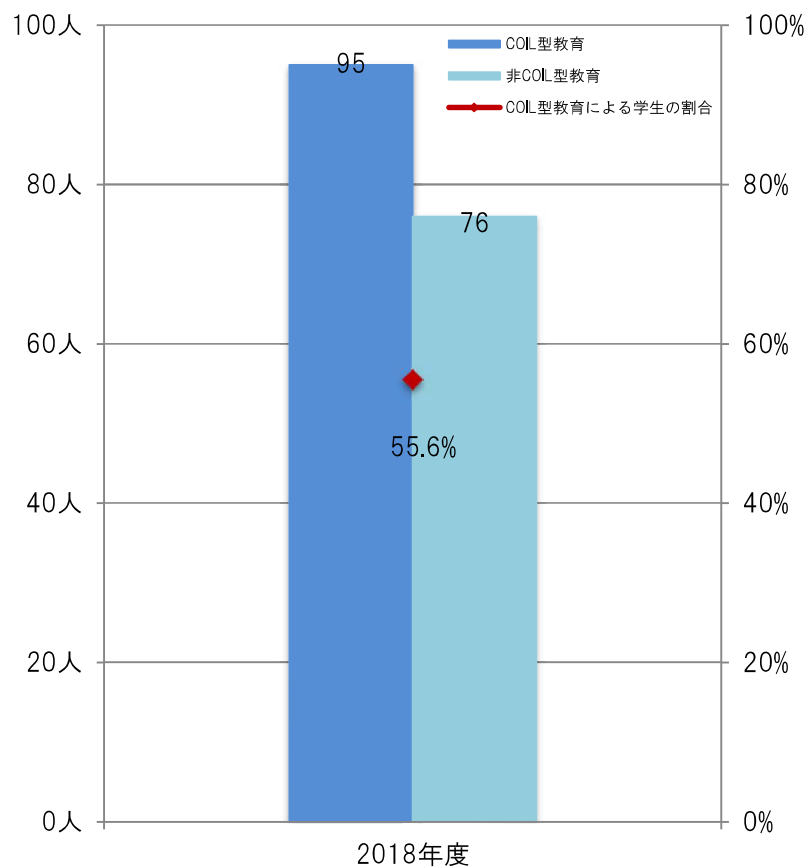
〈参考〉単位取得を伴う派遣学生数・割合



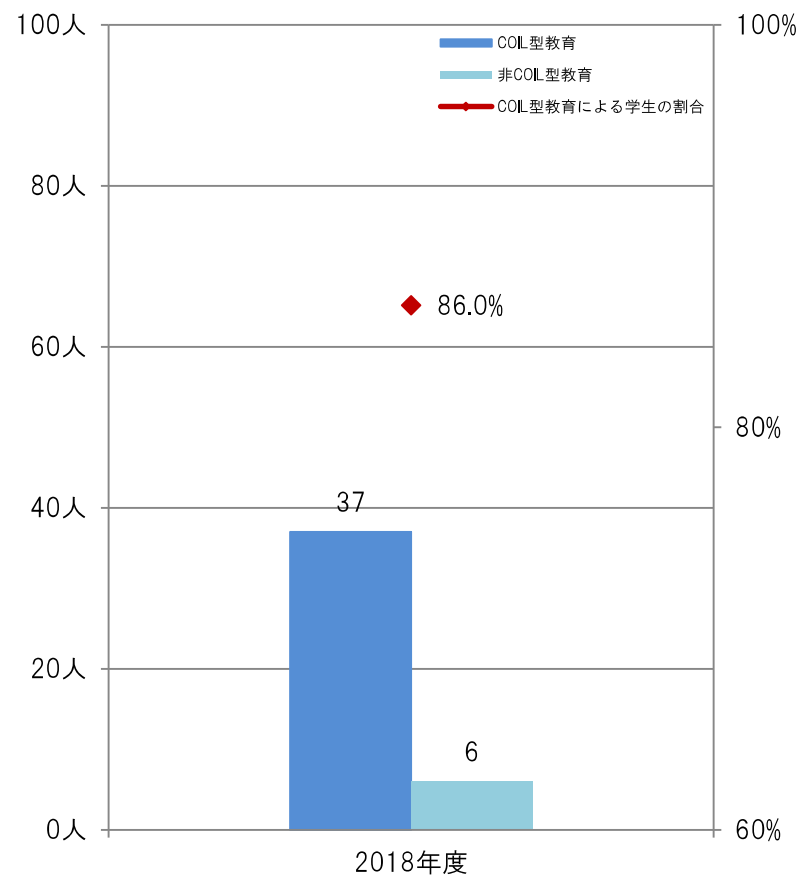


(1-1) 留学した日本人学生数（派遣学生数）〈全10プログラムにおけるCOIL型教育活用の状況〉

単位取得を伴う派遣学生向け  
COIL型教育数・割合

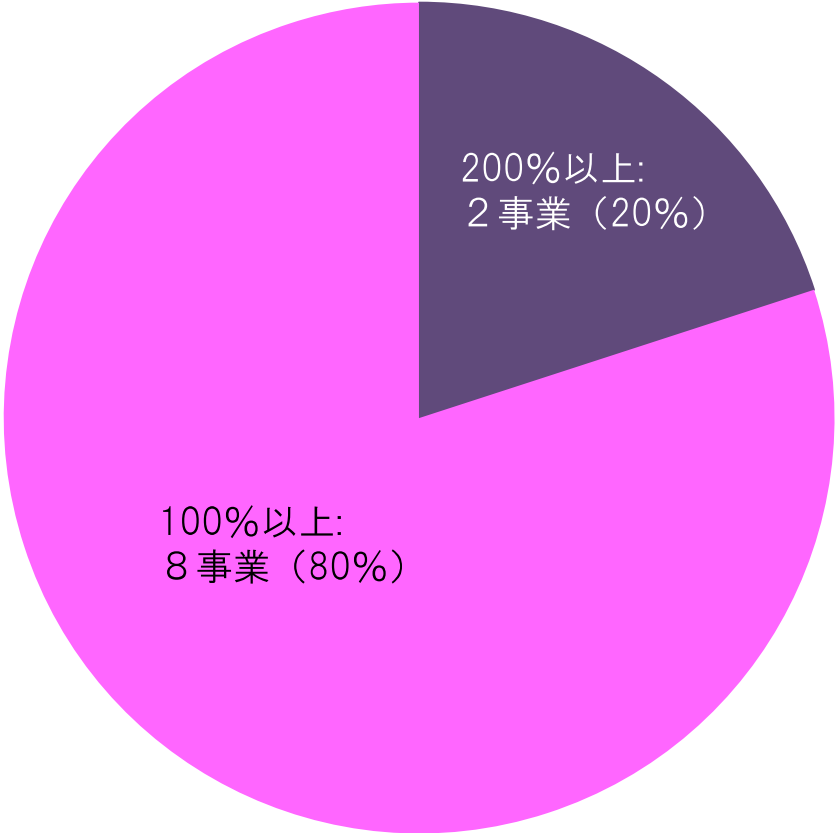


単位取得を伴わない派遣学生向け  
COIL型教育実施数・割合



(1-2) 留学した日本人学生数（派遣学生数）〈全10プログラムの2018年度の達成状況〉

目標に対する達成率



※詳細は別表1参照

## (1-3) 交流プログラム（派遣）の進捗状況

### タイプA

#### 千葉大学

Global Health Nursing IIプログラムにより派遣された学生は、現地で障害者施設実習、健康診断などを通じて異文化間看護を実体験し、その振り返りをCOILにより徹底したことで、深い学びを得た。

#### 東京大学

先端工学国際講義は、本学とMITの授業を最適なタイミングで実施できるよう相互の学事暦を勘案し、同時並行で授業を実施する初めての試みとなった。2019年2月に開講し6月初めまで継続することで、両校の学生が同じペースで授業を進めていくことが可能となった。成績と志望理由書により担当教員が選抜しMITに派遣した学生数は、計画を大幅に上回る23名であった。

#### 東京藝術大学

本学の修士学生が南カリフォルニア大学アニメーション&デジタルアート専攻の授業において作品上映と解説を行い、その多様さと作者の内面と向き合った内容に、現地の学生からも称賛の声が上がった。

#### 琉球大学

BEVIを導入し、交流プログラムの有用性を客観的に評価する仕組みを学内で整備した。

#### 大阪市立大学

日米両国で同分野のインターンシップ先を開拓することで、社会制度や社会課題の相違について学生が議論を行うことが可能となった。また、両国でグループワーク用のワークシートを共用し、最終報告書のフォーマットも同一のものを用いることで、学びを共有し、相互に参照可能とした。

### タイプB

#### 関西大学

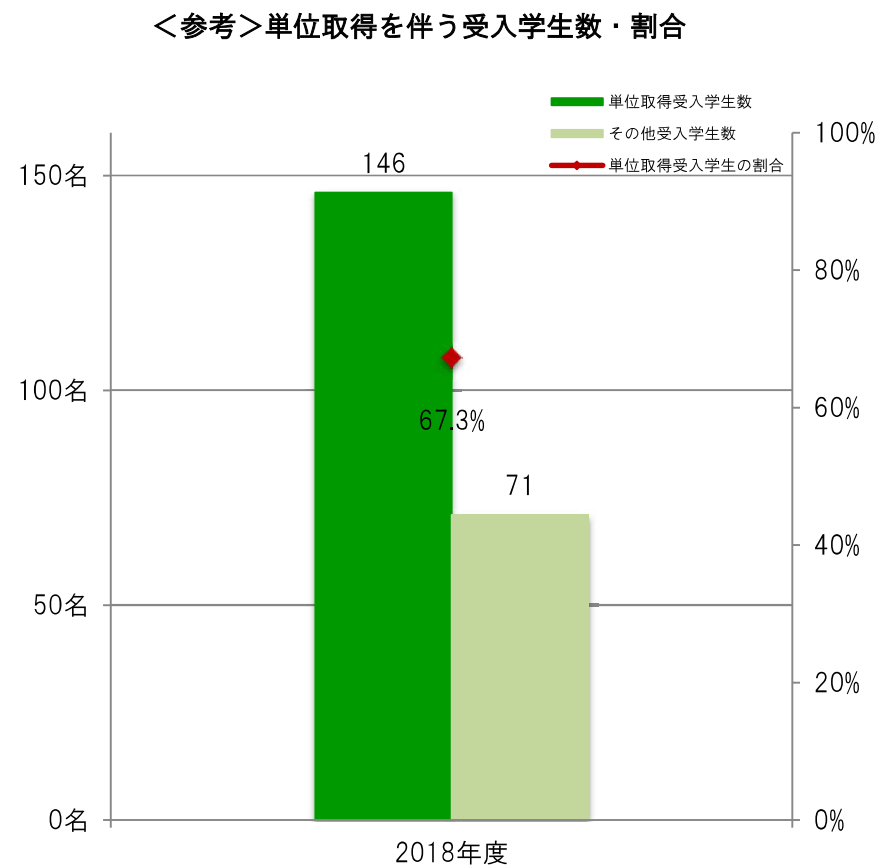
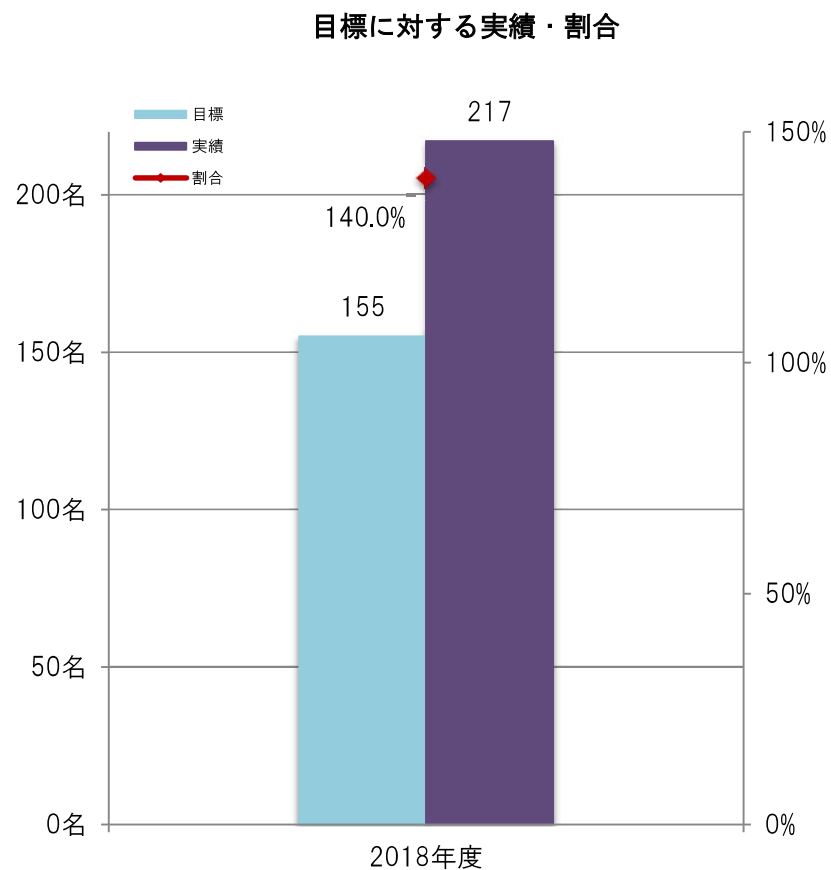
- ・交流推進プログラム

本学のCOIL型教育は従来のニューヨーク州立大学発祥のCOIL教育実践のモデルを踏襲している。共同学習部分を特に重要視しており、単なる講演の遠隔での交換といったものではない。このモデルがもたらす学生間のつながりを派遣プログラムにおいても継続させるのが、本学のCOIL Plusの取組である。

## 交流学生数の実績（2）

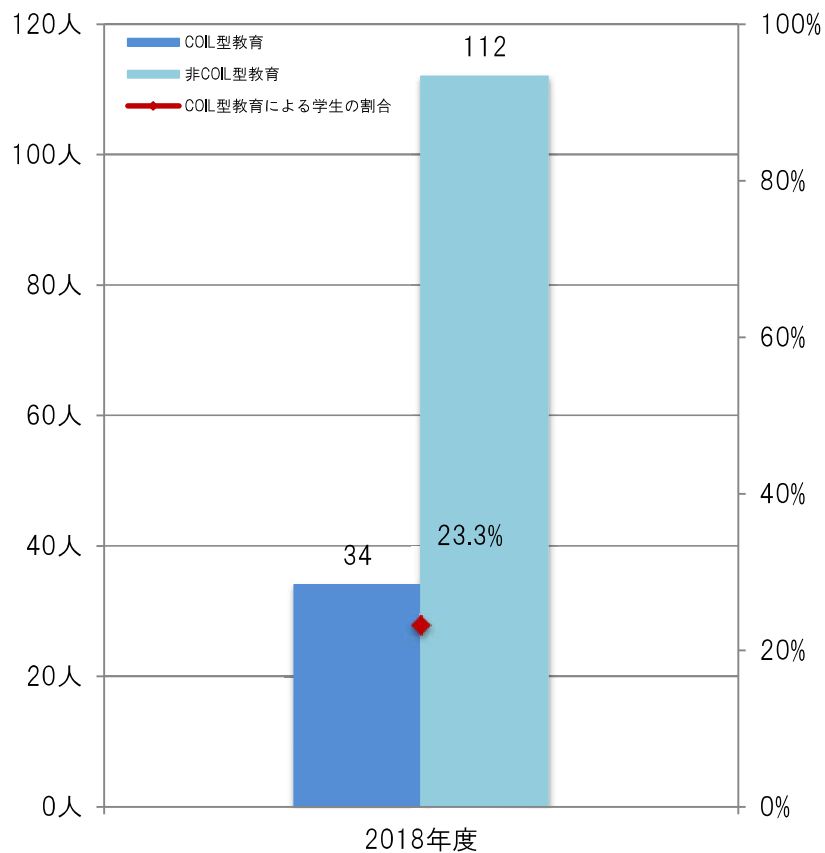
### （2-1）外国人学生数（受入学生数）〈全10プログラムの実績〉

実績は目標を上回り、単位取得を伴う受入学生の割合は高い水準にある。

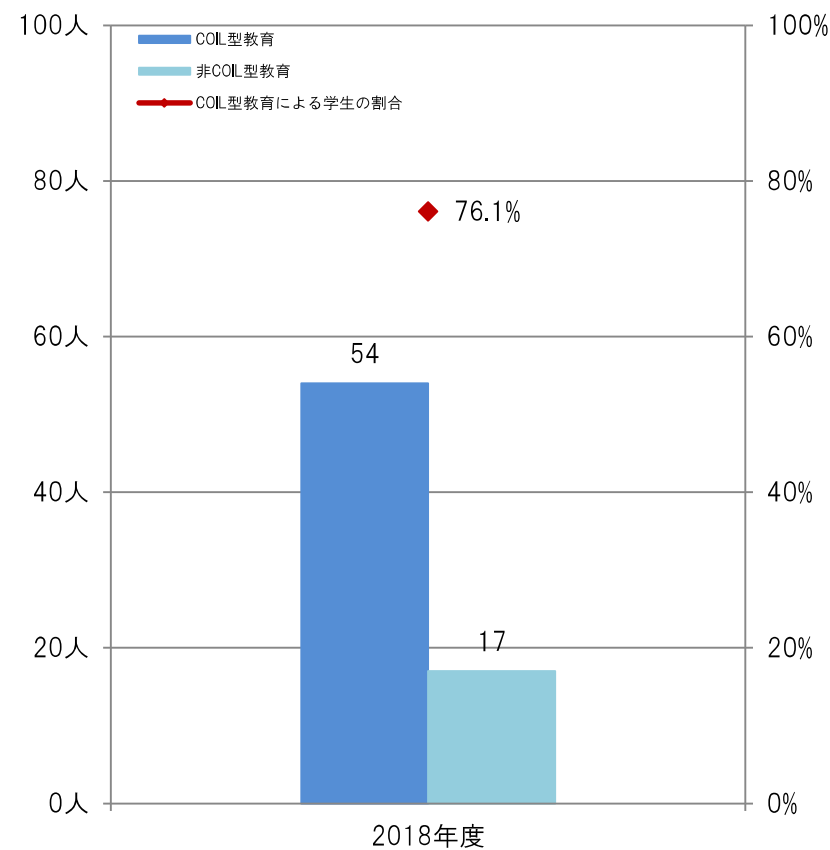


## (2-1) 留学した外国人学生数（受入学生数）〈全10プログラムにおけるCOIL型教育活用の状況〉

単位取得を伴う受入学生向け  
COIL型教育実施割合

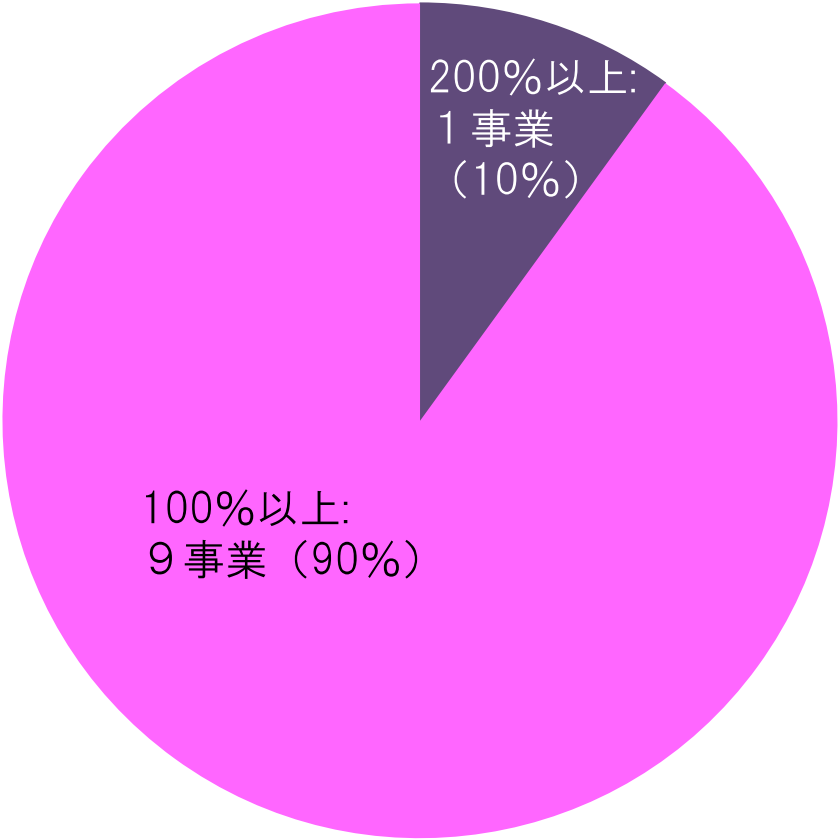


単位取得を伴わない受入学生向け  
COIL型教育実施割合



(2-2) 外国人学生数（受入学生数）〈全10プログラムの2018年度の達成状況〉

目標に対する達成率



※詳細は別表2参照

## (2-3) 交流プログラム（受入）の進捗状況

### タイプA

#### 鹿児島大学

島嶼へき地医療コースにおいて、事前学習のCOIL受講者数は本学と連携大学合わせて181名に上ったほか、米・韓学生各6名を受け入れて市保健センターなど5施設を視察し、連携校と本学教員による講義を本学学生と受講して意見交換を行うことで、3か国の学生は専門分野の視野と知識を広げた。

#### 琉球大学

海外文化研修A（英語圏）の科目において、シンクロ型COILを活用してマーシャル諸島短期大学と繋ぎ、日本人派遣学生と連携大学学生による協働プレゼンテーションを行なった。プレゼンテーションでは、本学在籍の長期受入外国人留学生も参加し質疑応答や評価に関わるなど、COIL型教育による多彩な取組の可能性を広げ、双方に学習効果をもたらした。

#### 南山大学

受入時のインターンシップの一環として愛知県庁と地元和菓子会社を受入学生が訪問した。地元企業等の活動について直に体験する機会を通じて、多面的に日米に関する問題を検討する視座を持つことができた。

### タイプB

#### 関西大学

##### ・交流推進プログラム

受入学生に対するCOIL Plus受入では、来日の際に役立つ言語・文化のオリエンテーションにとどまらず、実際のCOIL科目において共同学習した活動を継続することができるようなプログラムとなっている点が特色である。

別表1:交流形態別COIL型有無の派遣学生数(2018年度採択・タイプA)

(単位:名)

		取組年度	合計人数		達成目標に対する実績の割合(%)	(内訳)																			
			目標 (計)	実績 (計)		単位取得を伴う派遣学生数										左記以外の派遣学生数									
						(計)		3ヶ月未満				3ヶ月以上				(計)		3ヶ月未満				3ヶ月以上			
			目標	実績		COIL型教育有	COIL型教育無	COIL型教育有	COIL型教育無	COIL型教育有	COIL型教育無	COIL型教育有	COIL型教育無	目標	実績	COIL型教育有	COIL型教育無	COIL型教育有	COIL型教育無	COIL型教育有	COIL型教育無				
千葉大学	COILを使用した日米ユニーク・プログラム	2018	15	17	113.3	15	17	15	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		計	15	17	113.3	15	17	15	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東京大学	日米のCOIL型教育を活用した先端ワールド・グローバル工学人材養成プログラム	2018	20	39	195.0	20	39	15	34	0	0	5	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		計	20	39	195.0	20	39	15	34	0	0	5	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
○東京外国語大学、国際基督教大学	「多文化主義的感性とコンフリクト耐性を育てる太平洋を越えたCOIL型日米教育実践」	2018	29	52	179.3	29	52	4	7	4	7	1	0	20	38	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		計	29	52	179.3	29	52	4	7	4	7	1	0	20	38	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東京藝術大学	日米ゲームクリエイション共同プログラム－メディア革新時代の新しいアーティスト育成－	2018	6	6	100.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	6	6	6	0	0	0	0	0	0
		計	6	6	100.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	6	6	6	0	0	0	0	0	0
鹿児島大学	米国から鹿児島、そしてアジアへー多極化時代の三極連携プログラム	2018	8	28	350.0	0	23	0	0	0	23	0	0	0	0	8	5	0	5	8	0	0	0	0	0
		計	8	28	350.0	0	23	0	0	0	23	0	0	0	0	8	5	0	5	8	0	0	0	0	0
琉球大学	COIL型教育を活用した太平洋島嶼地域の持続的発展に資するグローバルリーダーの育成	2018	5	7	140.0	5	7	3	6	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		計	5	7	140.0	5	7	3	6	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大阪市立大学	日米をつなぐ共創的ソーシャルイノベーター育成プログラム	2018	5	6	120.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	6	5	0	0	6	0	0	0	0
		計	5	6	120.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	6	5	0	0	6	0	0	0	0
○上智大学、お茶の水女子大学、静岡県立大学	人間の安全保障と多文化共生に係る課題発見型国際協働オンライン学習プログラムの開発	2018	21	26	123.8	21	25	20	25	0	0	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0
		計	21	26	123.8	21	25	20	25	0	0	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0
南山大学	日米をつなぐNU4-COIL2 ～地域に根ざしたティラーメイド型教育プログラム～	2018	16	18	112.5	6	8	0	0	0	0	0	6	8	10	10	10	10	0	0	0	0	0	0	0
		計	16	18	112.5	6	8	0	0	0	0	0	6	8	10	10	10	10	0	0	0	0	0	0	0
関西大学	グローバル・キャリアマインドを培うCOIL Plus プログラム	2018	2	15	750.0	2	0	0	0	0	0	2	0	0	0	15	0	15	0	0	0	0	0	0	0
		計	2	15	750.0	2	0	0	0	0	0	2	0	0	0	15	0	15	0	0	0	0	0	0	0
合計			127	214	168.5	98	171	57	89	4	30	11	6	26	46	29	43	21	37	8	6	0	0	0	0



別表2: 交流形態別COIL型有無の受入学生数(2018年度採択・タイプA)

(単位:名)

	取組年度	合計人数		達成目標に対する実績の割合(%)	(内訳)																			
		目標(計)	実績(計)		単位取得を伴う受入学生数								左記以外の受入学生数											
					3ヶ月未満				3ヶ月以上				3ヶ月未満				3ヶ月以上							
					COIL型教育有		COIL型教育無		COIL型教育有		COIL型教育無		COIL型教育有		COIL型教育無		COIL型教育有		COIL型教育無					
目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績			
千葉大学	COILを使用した日米ユニーク・プログラム	2018	15	16	106.7	15	16	15	15	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		計	15	16	106.7	15	16	15	15	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東京大学	日米のCOIL型教育を活用した先端ワールド・グローバル工学人材養成プログラム	2018	15	16	106.7	5	0	0	0	0	0	0	5	0	10	16	10	11	0	0	0	5	0	0
		計	15	16	106.7	5	0	0	0	0	0	0	5	0	10	16	10	11	0	0	0	5	0	0
○東京外国語大学、国際基督教大学	「多文化主義的感性とコンフリクト耐性を育てる太平洋を越えたCOIL型日米教育実践」	2018	39	91	233.3	39	91	5	0	0	0	2	1	32	90	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		計	39	91	233.3	39	91	5	0	0	0	2	1	32	90	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東京藝術大学	日米ゲームクリエイション共同プログラム-メディア革新時代の新しいアーティスト育成-	2018	3	5	166.7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	5	3	5	0	0	0	0	0	0
		計	3	5	166.7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	5	3	5	0	0	0	0	0	0
鹿児島大学	米国から鹿児島、そしてアジアへー多極化時代の三極連携プログラム	2018	44	44	100.0	23	9	14	0	0	0	0	9	9	21	35	0	18	21	17	0	0	0	0
		計	44	44	100.0	23	9	14	0	0	0	0	9	9	21	35	0	18	21	17	0	0	0	0
琉球大学	COIL型教育を活用した太平洋島嶼地域の持続的発展に資するグローバルリーダーの育成	2018	5	6	120.0	5	6	0	0	0	0	5	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		計	5	6	120.0	5	6	0	0	0	0	5	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大阪市立大学	日米をつなぐ共創的ソーシャルイノベーション育成プログラム	2018	20	20	100.0	0	10	0	10	0	0	0	0	0	20	10	20	10	0	0	0	0	0	0
		計	20	20	100.0	0	10	0	10	0	0	0	0	0	20	10	20	10	0	0	0	0	0	0
○上智大学、お茶の水女子大学、静岡県立大学	人間の安全保障と多文化共生に係る課題発見型国際協働オンライン学習プログラムの開発	2018	3	5	166.7	3	5	3	1	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		計	3	5	166.7	3	5	3	1	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南山大学	日米をつなぐNU4-COIL2 ~地域に根ざしたテイラーメイド型教育プログラム~	2018	6	9	150.0	6	9	0	0	0	0	0	6	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		計	6	9	150.0	6	9	0	0	0	0	0	6	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
関西大学	グローバル・キャリアマインドを培うCOIL Plus プログラム	2018	5	5	100.0	5	0	5	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	5	0	0
		計	5	5	100.0	5	0	5	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	5	0	0
合計			155	217	140.0	101	146	42	26	0	0	7	8	52	112	54	71	33	44	21	17	0	10	0